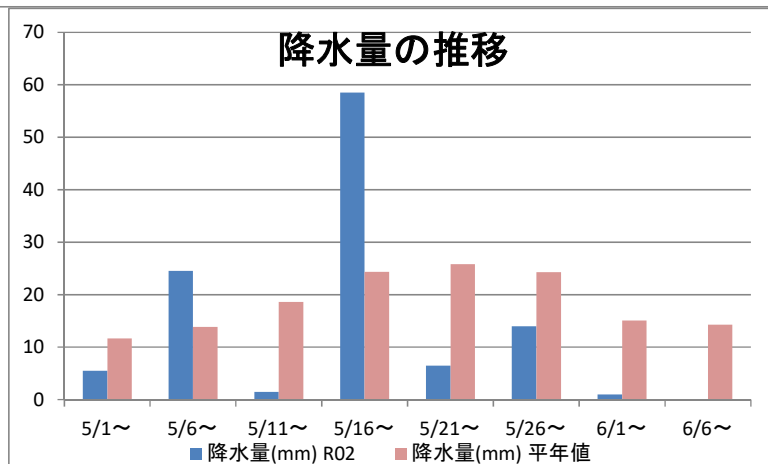
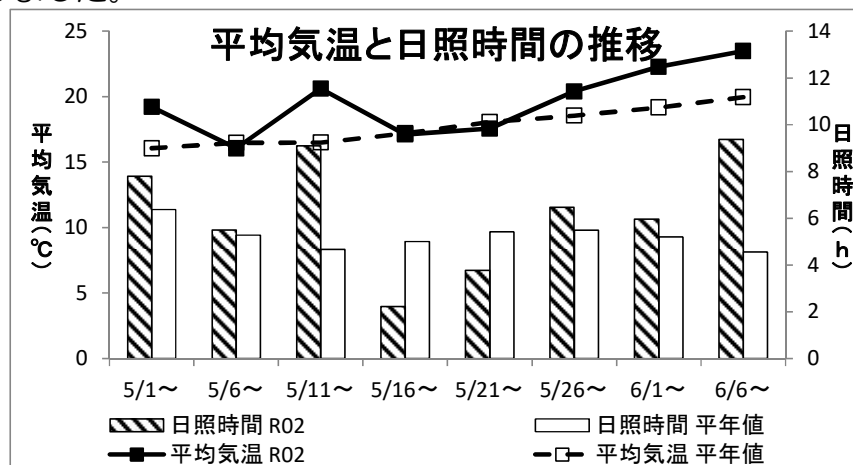


水稻生育情報 (No.2)

令和2年6月10日
 県西農林事務所 経営・普及部門
 (筑西地域農業改良普及センター)
 TEL:0296-24-9206

【生育概況】

- 本年の水稻田植時期～現在までの気象は、気温は5月下旬から高温が続き平均で平年より1.8℃高く、日照時間は平年の119%とやや多く、降水量は平年の78%と少なくなりました。



- 水稻定点調査における管内の「コシヒカリ」生育状況を下表に示します。6月9日現在の生育は調査地点によりバラツキがあり、草丈は低い～平年並み、茎数は少ない～やや多い、葉色はやや薄い～やや濃くなっています。

表1 水稻定点調査結果 (6月9日現在：コシヒカリ)

調査地点	田植え日 月/日	植付株数 株/坪	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色	
					葉色版	SPAD値
筑西市	5月7日	57	36.1	355	4.2	39.0
一本松	(5月2日)	(55)	(43.7)	(512)	(4.9)	(41.0)
下妻市	4月30日	48	47.4	499	4.5	42.1
加養	(5月1日)	(48)	(44.0)	(510)	(4.9)	(42.1)
桜川市	5月7日	66	33.7	428	4.9	40.5
岩瀬	(5月14日)	(61)	(32.9)	(316)	(4.6)	(40.1)
桜川市	5月5日	50	38.4	357	4.7	41.0
真壁町飯塚	(5月6日)	(51)	(36.8)	(388)	(4.7)	(40.6)

()内は平成27～令和元年の5カ年平均値

(桜川市岩瀬のみ田植の遅れた平成30年を除く平成26～令和元年の5カ年平均値)

【これからの栽培管理のポイント】

- 中干し開始時期を迎えているほ場があります。
分げつ盛期になると茎数は急激に増えるので、中干しの適期を逃さないようにしましょう。
- 「中干し」後は「間断灌水」を行います。
中干し終了後のイネは、根の性質が変るため、水を溜め続けると根腐れします。間断灌水が必要です。
- 間断灌水は、3日間水をため、その後自然落水させ、3日間水を抜く……を繰り返します。



間断灌水の落水時期の様子

• イネ縞葉枯病について

県西地域においてイネ縞葉枯病の発生が拡大しています。この病気は、ヒメトビウンカが媒介するウイルス病です。発病した後の治療方法はありません。

ウンカは5月下旬頃から水稻に飛来しますが、その際、ウイルスを保毒したウンカがイネを吸汁することで、イネが病気に感染します。保毒していないウンカが感染株を吸汁することで、新たにウイルスを保毒し、この繰り返しで被害が拡大します。

感染すると葉が縞状に黄色くなり、分げつ期には葉先がこより状に垂れ下がり枯死します。また、枯死しなかった茎でも正常に出穂しなかったり不稔となるため減収します。

• イネ縞葉枯病の防除について。

県病虫害防除所から6月5日付で注意報が発表され、県西地域で本病の発生が多くなることが予想されます。県西地域は、本病の被害が問題となっているので、育苗箱施薬と併せて、本田防除を行いましょう。

なお、本年はヒメトビウンカの発生時期が平年並、発生量が多い、と予測され、本田での防除適期は6月17～24日頃です。

防除方法や薬剤等に関してご不明な点がありましたら、普及センターかお近くのJA各支店にお問い合わせください。



写真1 イネ縞葉枯病の症状